

知の森へ2026 商学部1年生に薦めるこの1冊

2026年5月 明治大学商学部

	氏名	コース名等	主担当科目	書名	著者名	出版社	出版年	推薦教員からのコメント
商学専門	浅井義裕	ファイナンス&インシュアランス	保険リスクマネジメント論	少子社会日本—もうひとつの格差のゆくえ	山田昌弘	岩波書店	2007年	これから就職や結婚といった選択をしていくことになるであろう若者の指針となってくれる本だと思います。
	阿武秀和	アブライド・エコノミクス	ゲーム理論	数学のロジックと集合論	田中一之・鈴木登志雄	培風館	2003年	大学生の間に、一冊くらい数学の本を読むのも良いんじゃないでしょうか。一人で読むと絶対に挫折するので、気軽に質問できる数学者を見つけてから読むことを薦めます。
	伊藤隆康	ファイナンス&インシュアランス	金融機関論	メイク・ハンカブル！ イギリス国際金融浪漫	黒木 亮	集英社	2023年	筆者が実際に担当した実務を通して、ダイナミックな国際金融ビジネスの世界を知ることができる。
	井上達樹	アブライド・エコノミクス	経済史	なぜ豊かな国と貧しい国が生まれたのか	ロバート・C・アレン著 グローバル経済史研究会訳	NTT出版	2012年	世界的な経済格差の原因を歴史的観点から考察したグローバル経済史の入門書です。
	太田壘	ファイナンス&インシュアランス	国際金融論	なぜ科学が豊かさにつながらないのか？	矢野 誠 中澤 正彦	慶應義塾大学出版会	2015年	技術を社会で活かすための、社会科学的な視点が描かれています。
	大津健登	グローバル・ビジネス	貿易総論	砂糖の世界史	川北稔	岩波書店	1996年	砂糖をめぐる貿易と世界とのつながりを歴史的視点から描いた一冊。近代の経済社会はどのように形成されたのか。豊かな暮らしの背景を知り、考えてみましょう。
	小田康治	アカウンティング	業績管理会計論	人間というもの	司馬遼太郎	PHP研究所(PHP文庫)	2004年	司馬文学の魅力を凝縮した渾身の書。司馬が常に追い求めた「日本人とは何か」という問いを共に思索すべき書。
	小原英隆	ファイナンス&インシュアランス	金融総論、金融論	20歳からの金融入門	美和 卓	日本経済新聞出版本部	2009年	直接・間接金融や銀行の基礎を乗り物の例えで説明。皆さんは優秀なので、20歳以前でも全然読めます。ただしこれは小原ゼミでやる事の見本ではありません。
	恩田睦	マーケティング	都市・地域交通論	人間の街—公共空間のデザイン	ヤン・ゲール 北原理雄訳	鹿島出版会	2014年	交通とは車や電車を動かすだけでなく、人が安心して歩き、休み、交流することのできる「まちの空間」をつくることでもあります。この本は、道路や広場を「人間の生活の場」として考える視点を学べる一冊です。
	加藤拓巳	マーケティング	マーケティング管理論	売れるもマーケ 当たるもマーケ—マーケティング22の法則	Ries, A., Trout, J.	東急エージェンシー	1994年	
	加藤達彦	アカウンティング	監査論	予想どおりに不合理	D・アリエリ 熊谷淳子訳	早川書房	2008年	実は「小さな不正は無意識的」という、経営者の不正を取り締まる人には、衝撃的な結果が示されています。
	神田良介	アカウンティング	税務会計論	日本人を狂わせた洗脳工作 いまなお続く占領軍の心理作戦(自由社ブックレット 第1巻)	関野通夫	自由社	2015年	昭和六十一年当時、教育実習先の高校の授業で「大東亜戦争」という日本の国史(こくし)上の正統な名称を使用した中央の高校の私の同級生は、その名称を使用したと云うただ一事を以てお目付け役の高校教諭から教育実習で不可を喰らわされました。こうした「狂、員が世にはびこる発端となった占領政策をこのブックレットでは原資料から暴論しています。教員志望者には必読の書です。
	菊池一夫	マーケティング	商業経営論	両利きの経営	チャールズ・オリイリー&マイケル・タッシュマン	東洋経済	2019年	環境の変化が激しい中で企業はどのように革新を行っていくのか、既存事業での知識の深堀と新規事業での知識の探索をどのように両立させていくかを記した書物です。
	久保隆光	マネジメント	労使関係論	思考の整理学	外山滋比古	ちくま文庫	1986年	答えを「探す」のではなく「創る」ためにどう「考える」のか？考えることをシンプルに説いている本です。
	小林尚朗	グローバル・ビジネス	貿易政策論	富める者だけの資本主義に反旗を翻す	原文人	新潮社	2025年	シリコンバレーで成功した日本人ベンチャーキャピタリストが語る大切なお話。大学1年生の必読書。
	塩澤恵理	グローバル・ビジネス	バーバル・ビジネス英語	1984	George Orwell	Signet Classics	1949年	現在の情報化社会に対して警鐘を鳴らす、終戦直後に発刊された興味深い書。
	高野公三子	クリエイティブ・ビジネス	ビジネス・インサイト	思考の整理学	外山 滋比古	ちくま文庫	1986年	なんでも検索するとある程度は分かる(分かったような気になる)効率のいい現代だからこそ、自分で考える、自分でデザインすることが出来なくなっています。本書の初版は1986年ですが、AIが進行する今だからこそ、読んで欲しい一冊です。最新の改訂版には、「東大・京大生が根強く支持するロングセラー」という帯の文字も。
	高橋昭夫	マーケティング	商品学	社会が変わるマーケティング—民間企業の知恵を公共サービスに活かす	フィリップ・コトラー/ナンシー・リー著 スカイライト・コンサルティング訳	英治出版	2007年	ソーシャル・マーケティングの今日的意義を検討してみよう。
	高浜光信	アブライド・エコノミクス	国際経済学	ケンブリッジ式経済学ユーザーズガイド	ハジュン・チャン	東洋経済新報社	2015年	特定の学派に凝り固まらない真つ当な経済学の使い方ガイド。
	竹内亮介	マーケティング	広告論	ブランド論:無形の差別化をつくる20の基本原則	デービッド・アーカー	ダイヤモンド社	2014年	マーケティングについて学ぶうえで、ブランドに対する理解は不可欠です。本書では、ブランド論の重要な内容がコンパクトにまとまっています。
	竹村正明	マーケティング	商業総論	NEXUS(情報の人類史)上・下	ユヴァル・ノア・ハラリ	河出書房新社	2025年	独裁者はいつも時代でもいるが、AIは初めて出てきた(だから厄介である)というのが、ハラリのメッセージです。それは知能と意識を分離したからです。なぜそうなのかは、ご自身で理解してください。
	千葉修身	アカウンティング	簿記学 原価計算論	近代経済学の解明(上)(下)	杉本栄一	岩波書店	2006年	商学のベースには経済学がある。それは人間を幸福にする手段。本書で知の創造を営む原点を探究してみよう。
	土屋陽一	ファイナンス&インシュアランス	金融論	ゴールド—金と人間の文明史	ピーター・L・バーンスタイン(著) 鈴木 主税(翻訳)	日本経済新聞出版	2001年	経済活動の歴史が興味深く描かれています。
	出見世信之	マネジメント	経営哲学 企業と倫理	SDGs—危機の時代の羅針盤	南博・稲葉雅紀	岩波書店	2020年	大学入学までに、どこかでSDGsについて見たたり、聞いたたりしている方も多いことでしょう。本書を通じて、商学部の学びとSDGsがどのようにつながることができるか、学んだ知識を実践することができかについて考えることができます。

知の森へ2026 商学部1年生に薦めるこの1冊

2026年5月 明治大学商学部

	氏名	コース名等	主担当科目	書名	著者名	出版社	出版年	推薦教員からのコメント
商学専門	所康弘	グローバル・ビジネス	貿易論	奴隷制の歴史	ブレンダ・E・スティープソン	ちくま学芸文庫	2023年	世界のすべての地域、すべての時代に存在する奴隷制の歴史を、その制度の最も嫌悪すべき頂点となったアメリカ合衆国での実態を中心に、アフリカ系アメリカ人研究の第一人者が綴る。
	富野貴弘	マネジメント	生産管理論	知的複眼思考法	苅谷剛彦	講談社+α文庫	2002年	「自分の頭でものを考える」ということの大切さとその方法について、大変明快かつ具体的に書かれた良書。ぜひ、1年生の間に読んでほしい。
	中林真理子	ファイナンス&インシュアランス	保険学	リスクー神々への反逆	ピーター・L・バーンスタイン著 青山護 訳	日経ビジネス人文庫	2001年	物語を通じて経済用語としての「リスク」を知ることから、経済や金融の世界の入り口に触れてみませんか？
	名越洋子	アカウンティング	会計情報論	ケースブック会計学入門	永野則雄	新世社	2014年	実際の企業の事例を通して、平易に通りの会計学の考え方を学べる。簿記で仕訳による反復練習を行うよりも、早めに理論を高いレベルまで理解することができる。
	奈良沙織	アカウンティング	企業評価論	山根教授のアウトバウトだけどリアルな会計ゼミ	山根節	中央経済社	2011年	財務諸表の読み方に加え実際の企業経営や戦略と会計の関係を平易に説明。会計初学者も直観的な理解が可能。
	野田顕彦	ファイナンス&インシュアランス	証券市場論	現代語訳 学問のすすめ	福澤諭吉著、齊藤孝訳	ちくま新書	2009年	なぜ学問をするのか、学問は何の役に立つのか、そうした疑問を持った1年生諸君は是非読んでみて下さい。
	萩原統宏	ファイナンス&インシュアランス	金融取引論	恐れのない組織	エイミー・C・エドモントン	英治出版	2021年	企業など、集団の中で働く場合を想定した本ですが、大学のゼミなどのグループで学習する際にも示唆に富む本です。
	畑農鋭矢	アプライド・エコノミクス	公共経済学 財政学	自由貿易はなぜ必要なのか	椋 寛	有斐閣	2020年	経済学の基本である自由貿易のメリットについて易しく解説している。社会科学的思考の出発点として必読である。
	原頼利	マーケティング	流通システム論	戦略的思考の技術ーゲーム理論を実践する	梶井厚志	中央公論新社	2002年	ゲーム理論に興味がもてるようになる。
	深澤光樹	グローバル・ビジネス	貿易政策論	死ぬ瞬間ー死とその過程についてー On Death and Dying	エリザベス・キューブラー・ロス	中公文庫	2025年	私たちは永遠に生きるかのように、日々を暮らしている。瀕死患者と向き合った精神科医が執筆した本書は、死を考えることはどう生きるかを考えることだと述べている。
	福田康典	マーケティング	市場調査論	哲学がはじまるときー思考は何/どこに向かうのか	斎藤慶典	ちくま新書	2007年	「考えること」こそ大学生の本分です。考えることが何なのかを理解するための入門書です。
	藤井秀登	マーケティング	交通論 観光事業論	真贋	吉本隆明	講談社インターナショナル	2007年	的確な現状認識を得るにはどうすればよいのか。思想界の巨人がやさしく語りかけてくれます。
	藤井陽一郎	ファイナンス&インシュアランス	損害保険論	大学時代にしなければならない50のこと	中谷彰宏	PHP研究所	2000年	卒業までに自分がやりたいこと、自分しかできないことを見つけてください。
	前田陽	アカウンティング	意思決定会計論	なぜ、あの会社は儲かるのか？	山田英夫/山根節	日本経済新聞出版社	2009年	会計と経営の結び付きを実際の数字や事例を用いて、初心者にも分かりやすく説明し、一読の価値がある。
	町田一兵	マーケティング	国際交通論	ザ・ゴール	エリヤフ・ゴールドラット	ダイヤモンド社	2001年	小説のタッチで、企業の効率的な運営の本質を分かり易く説明した一冊です。
	松原有里	アカウンティング	租税法	14歳からの哲学ー考えるための教科書	池田晶子	トランスビュー	2003年	表題は「14歳」ですが、1年生の皆さんには、特にⅢ部「17歳からの哲学」を。
	水谷淳	マーケティング	物的流通論	経営学	小倉昌男	日経BP	1999年	「宅急便」を作った物流革命を起こしたヤマト運輸の社長の自叙伝です。市場を見抜く力と組織のリーダーとしての振る舞いに圧倒されます。
	水野勝之	アプライド・エコノミクス	計量経済学	ジビンカ・レストラン ～シャッター街の奇跡の再生物語～	水之夢端・椋田撩	東京図書出版	2021年	授業の中で大学生たちがレストランを実際に経営する話。経営にはコンセプトが重要であることを学んでほしい。
	水野誠	クリエイティブ・ビジネス	クリエイティブ・マーケティング論	ネットワーク科学が解明した成功者の法則	アルバート＝ラズロ・バラバン	光文社	2023年	芸術、スポーツ、研究など多様な分野での成功に一貫する「法則」を科学的に探求する。進路を考えるときの参考に！
	三和裕美子	ファイナンス&インシュアランス	機関投資家論	沈黙の春	レイチェル・カーゾン 青樹築一訳	新潮文庫	1974年	農業などの化学薬品の使用は、生物を死に絶えさせ「沈黙の春」をもたらした。さらに抵抗性を増した病原体が人類に襲いかかってくる。1962年にアメリカで出版された本書は、今日の我々が考えなければならない問題を示している。
	村田深	マネジメント	経営情報システム論	技術の道徳化: 事物の道徳性を理解し設計する	ピーター＝ポール・フェルパーク	法政大学出版局	2015年	私たちの身の回りに必ずといっていいほど存在している「技術」というものについて、深く考える機会を与えてくれます。
	山下洋史	マネジメント	情報管理論	複雑さに挑む科学ー多変量解析入門	柳井晴夫/岩坪秀一	ブルーバックス(講談社)	1976年	社会科学で取り扱う複雑な現実分析方法について解説した入門書です。
	山田知明	アプライド・エコノミクス	経済学 経済政策論	データ分析の力 因果関係に迫る思考法	伊藤公一朗	光文社新書	2017年	データ分析の考え方を身につけられる本。これを読んだ後で実際にデータと統計ソフトを使って分析してみましょう。
	山本昌弘	アカウンティング	国際会計論	これがSDGs	明治大学商学部	同文館出版	2021年	明治大学商学部の教員がそれぞれの専門テーマからSDGsについて論じた入門書です。

知の森へ2026 商学部1年生に薦めるこの1冊

2026年5月 明治大学商学部

	氏名	コース名等	主担当科目	書名	著者名	出版社	出版年	推薦教員からのコメント
総合学際	浅賀宏昭	総合教育科目(人間と自然)	生命科学 バイオテクノロジーとバイオビ ジネス	いのちの選択 一今、考えたい脳死・臓器移植	小松美彦、市野川容考、田中智彦	岩波書店(岩波ブックレット 782)	2010年	脳死と臓器提供について考えさせられる本。これを読んで、ひと個人の生命について、ぜひ考えてほしいです。
	浅間哲平	外国語科目(フランス語)	フランス語	『舞姫』(1890)	森鷗外	岩波文庫	1981年	ドイツ留学中に現地の「舞姫」と関係し、その立場が危うくなると女を捨て帰国する、優柔不断を絵に描いたような男の話。
	石黒太郎	外国語科目(英語)	英語	古代への情熱—シュリーマン自伝	H. シュリーマン	岩波文庫、新潮文庫		外国語をどう学び、築いた富をどう使うか。ひとつの答えがここに。現代にも通じるものが見つかるはず。
	石出靖雄	総合教育科目(文化と芸術)	日本語表現論	一瞬の夏(上・下)	沢木耕太郎	新潮社(新潮文庫)	1984年	プロボクサー・カシアス内藤に焦点をあてたノンフィクション。取材力とその表現方法に注目。
	井関睦美	外国語科目(スペイン語)	スペイン語	かくれた次元	エドワード・ホール著 日高敏隆/佐藤信行訳	みすず書房	2000年	対人コミュニケーションと空間観念の関係を分かりやすく解説。将来国際的に活躍したい人にお薦めします。
	海田皓介	外国語科目(英語)	英語	新版 大学生のためのレポート・論文術	小笠原喜康	講談社現代新書	2009年	レポートや論文の書き方を根本から教えてくれる本です。
	加藤健太	外国語科目(英語)	英語	LGBTを読みとく —クィア・スタディーズ入門	森山 至貴	筑摩書房	2017年	多様な性のあり方について学ぶための入門書。『トランスジェンダー入門』(集英社)と合わせて読むと良いと思います。
	鴨井祐二	総合教育科目(人間と自然)	線型数学 解析数学	深層学習の原理に迫る: 数学の挑戦	今泉允聡	岩波書店	2021年	取り敢えず、数学の部分は、読み飛ばしましょう。
	北田葉子	総合教育科目(文化と芸術)	西洋文化史	ビダハン: 「言語本能」を超える文化と世界観	ダニエル・L・エヴェレット著 尾代通子訳	みすず書房	2012年	言語が異なれば、世界が変わります。言語は、その人の見る世界を規定しているのです。あなたもビダハンの世界を見てみましょう!
	木村至聖	総合教育科目(地域と社会)	社会学	客観性の落とし穴	村上靖彦	ちくまプリマー新書	2023年	「数字」「エビデンス」が重視される今だからこそ、あらためて客観性って何か考えてみませんか。
	黒崎典子	外国語科目(日本語)	日本語	ネーミングの言語学-ハリー・ポッターからドラゴンボールまで-	窪蘭晴夫	開拓社	2008年	身近なことばを観察すると、いたるところに言語の法則が…! 知識を得て、身の回りを観察するって面白い!
	小宮彩加	外国語科目(英語)	英語	ジェーン・エア(上・下)	シャーロット・ブロンテ 久保康雄訳	新潮文庫		イギリス小説の名作。妹エミリー作の『嵐が丘』も併せてどうぞ。
	今野史昭	外国語科目(英語)	英語	十二夜	ウィリアム・シェイクスピア著 松岡和子訳	筑摩書房(ちくま文庫)	1998年	シェイクスピア喜劇の傑作。名台詞をじっくり味わってみよう。
	笹生心太	保健体育科目	体育・スポーツ実習	ガチガチの世界をゆるめる	澤田智洋	百万年書房	2020年	あなたがスポーツが苦手なのは、あなたではなく、ルールのほうに問題があるのでは? そんな社会学的な思考法の基本を学べます。
	佐々木美加	総合教育科目(人間と自然)	心理学	避難学「逃げる」ための人間科学	矢守克也	東京大学出版会	2024年	首都直下地震が起きた時、災害から命を守れますか? 人間科学を用いた避難学の書を紐解いてみて下さい。
	澤井和彦	保健体育科目	体育・スポーツ実習	高校野球「裏」ビジネス	軍司貞則	筑摩書房	2008年	この本で学んでほしいことは、「ビジネスを”裏”でするのではなく、“表”できちんとやるべきだということです。
	ジェームズ・アンドリュー・S.	外国語科目(英語)	英語	How to Be a Canadian	Will Ferguson	Douglas and McInyre	2008年	A funny introduction to Canadian culture!
	清水克行	総合教育科目(文化と芸術)	日本文化史	ワセダ三畳青春記	高野秀行	集英社文庫	2003年	有名ノンフィクション作家の某大学在籍7年間の破天荒青春記。今の大学生に足りないものが見つかるはず。
	清水真木	総合教育科目(人間と自然)	哲学	それをお金で買いますか ー市場主義の限界	マイケル・サンデル著 鬼澤忍訳	早川書房	2012年	現代社会には、経済だけでは解決できない問題がたくさんあります。
	シックハウス トビアス	外国語科目(ドイツ語)	ドイツ語	影を売った男—ペーター・シュレミールの不思議な物語(1814)	アーデルベルト・フォン・シャミッソー	角川文庫	1952年	主人公シュレミールは、自分の影を謎の男に売り渡し、その代わりに尽きることのない富を手に入れます。一見すると魅力的な取引に思えますが、影を失った人間は社会の中で「人間らしくない」と見なされ、次第に孤立していきます。成功や富を手に入れるために、人は何を犠牲にしてよいのでしょうか。『Peter Schlemihls wundersame Geschichte』の魅力は、この物語が複数のレベルで読み解ける点にあります。すなわち、メルヘンとして楽しめる一方で、社会批判としての側面を持ち、さらには哲学的な問いをも投げかける作品なのです。
高橋三和子	外国語科目(英語)	英語	Renaissance Art, A Very Short Introduction	Geraldine A. Johnson	Oxford University Press	2005年	オックスフォード大学出版局「A Very Short Introduction」シリーズ。ルネサンス芸術についての簡潔な導入書である。美術館でルネサンス期の芸術作品にふれる時、より深い理解を通して、鑑賞を楽しもう。	
瀧口美香	外国語科目(英語)	英語	現代建築ガイド	飯島洋一	平凡社新書	2003年	現代建築といわれても奇怪でよくわからないと思っている人へ。マップつき。実際に現場を訪れてみよう。	
鳥居高	総合教育科目(地域と社会)	アジア史 東南アジア政治経済論	エビと日本人 I, II	村井吉敬	岩波書店(新書)	I 1988年 II 2007年	日本人の身近な食べ物・エビを通じて、日本と東南アジアの構造を分析。2冊共に読むと20年間の変化がわかる。	

知の森へ2026 商学部1年生に薦めるこの1冊

2026年5月 明治大学商学部

	氏名	コース名等	主担当科目	書名	著者名	出版社	出版年	推薦教員からのコメント
総合学際	永井善久	総合教育科目(文化と芸術)	日本近代文学	映画館と観客の文化史	加藤幹郎	中央公論新社(中公新書)		映画を鑑賞する「場」をめぐっての刺激にみちた論考です。
	中川秀一	総合教育科目(地域と社会)	地理学 産業立地論	ジェンダーの視点で読む都市空間	吉田容子・影山穂波	古今書院	2024年	本編著では、空間や場所に刻みこまれている目に見えない権力関係について、ジェンダーという切り口から多面的に解明しようとする研究が収録されている。現代地理学の様々なテーマを取り上げた導入にもなっている。
	中島渉	外国語科目(英語)	英語	一億人の「知的生産」講座・どんな論文でも書けてしまう技術	鷺田小彌太	言視舎	2004年	大学で学ぶことの精髓は、まともな論文が書けることに尽きる。
	中村成里	総合教育科目(文化と芸術)	日本古典文学	晩年	太宰治	新潮社	2005年	人間の弱さとは？脆さとは？そして危うさとは？ 何かが失われるときに放つ美しい光を、見つめてみませんか。
	西山春文	総合教育科目(文化と芸術)	日本近代文学	「明大前」物語	窪島誠一郎	筑摩書房	2004年	人も町も貧しくとも輝いていた頃―。「明大前」と和泉校舎に、もっともって愛着が湧いてくるはず。
	広沢絵里子	外国語科目(ドイツ語)	ドイツ語	物語東ドイツの歴史: 分断国家の挑戦と挫折	河合信晴	中公新書	2020年	1990年のドイツ統一で東ドイツは消滅しました。しかし、ドイツの現代史は「西ドイツ」だけでは語れません。
	洞口拓磨	総合教育科目(人間と自然)	物理学	科学と科学者のはなし 寺田寅彦エッセイ集(岩波少年文庫510)	寺田寅彦著 池内了編	岩波書店	2000年	鳥瞰的視点から展開された寺田物理学は、文系と理系の垣根を越えた次世代の科学の在り方を示しています。
	松原陽子	外国語科目(フランス語)	フランス語	狐笛のかなた	上橋菜穂子	新潮文庫	2008年	ファンタジーの傑作を読みたくたに薦める本です。
	水谷尚子	外国語科目(中国語)	中国語	大地の子	山崎豊子	文藝春秋社	1994年	中国残留日本人孤児と、戦後満洲に残して来ざるをえなかった子どもを探し続ける老いた親の話。これから中国語を学ぶ学生には特に読んで欲しい。
	三田剛史	外国語科目(中国語)	中国語	貧乏物語	河上肇	岩波書店	1965年	「貧乏物語」が「大阪朝日新聞」に掲載されてから100年を経て貧乏退治の道のりはなお遠い。
	森永由紀	総合教育科目(人間と自然)	自然科学概論 環境科学	打ちのめされるようなすごい本	米原万里	文藝春秋(文春文庫)	2009年	ロシア語通訳・翻訳家作家でもあった著者によるエネルギッシュな書評集です。打ちのめされてほしい。
	安原伸一郎	外国語科目(フランス語)	フランス語	居るのはつらいよ	東畑開人	医学書院	2019年	大学では世界を広げてほしいものですが、グローバル化の波に乗ることだけが世界を広げることではありません。
	李英美	外国語科目(朝鮮語)	韓国語	韓国映画100年史 ―その誕生からグローバル展開まで	鄭 ジョン禎・著 野崎充彦、加藤知恵・訳	明石書店	2017年	韓国映画史を知ることによって、韓国映画をより楽しむことと、韓国の社会と文化を理解することにつながると思います。そうした道しるべとして本書を推薦します。
	ルブレクト,ブライアンG.	外国語科目(英語)	英語	How to Write Term Papers and Reports	L. Sue Baugh	VGM Career Horizons		This is a good text for preparing and writing academic papers.
	渡辺徳美	外国語科目(ドイツ語)	ドイツ語	映画史を学ぶクリティカル・ワーズ【新装増補版】	村山匡一郎他	フィルムアート社	2013年	本書の映画史に関するキーワードを手引きにして、学生時代に映画をたくさん鑑賞しよう！あなたの人生を左右するような作品に出会えるかも。